

長野県知事

田中康夫様

新たな自治体運営「南信州モデル」実践プラン

・・・下伊那郡町村会提言への対応協働プロジェクト報告書・・・

平成16年11月19日

下伊那地域振興戦略会議

目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
新たな自治体運営「南信州モデル」実践プランの概要・・・・・・・・	2
新たな自治体運営「南信州モデル」実践プラン	
・ 町村事務サポートチーム	
下伊那ふるさと振興局[地域振興局]（仮称）について・・・・・・・・	5
林業技術員及び農業改良普及員の駐在について・・・・・・・・	8
・ 町村連合チーム	
自治体連合「南信州モデル」について・・・・・・・・	11
・ 広域防災チーム	
東海地震等甚大な災害に対する防災体制の強化について・・・・・・・・	25
・ 学校運営のあり方チーム	
学校運営のあり方について・・・・・・・・	32
・ 観光活性化チーム	
南信州広域観光連携について・・・・・・・・	43
地域特産品の開発と販路開拓について・・・・・・・・	46
参考資料	
下伊那郡町村会提言への対応協働プロジェクトの経過・・・・・・・・	51
下伊那地域振興戦略会議体制図・・・・・・・・	52
各専門チームの参加メンバー及び会議経過・・・・・・・・	53

はじめに

飯伊地域“南信州”は、大阪府や香川県に匹敵する広大な面積を有し、南アルプスと天竜川が形成する複雑な地形の中に、飯田市を中心として、南部、西部、北部の3つの地域で構成されており、それぞれの地域には、固有の歴史文化を礎とする多様な自治が育まれています。

しかし今、国と地方の財政再建と地方分権を目的とした三位一体改革や少子・高齢化、情報化、国際化の進展などへの対応で、地方財政を取巻く環境は極めて厳しい状況にあります。

このような中で、市町村は、多様化・高度化する住民ニーズに迅速、かつきめ細かく対応していくため、従来の自治体運営の枠にとらわれず、県を含めた広域連携及び行政と住民やNPO、民間企業などとの協働を視野に入れながら、自己決定・自己責任の地方分権時代にふさわしい自治体運営のあり方を真剣に模索すべき時を迎えています。

とりわけ小規模な町村が多く存在する当地域にとっては、持続可能な行政体制の構築が喫緊の課題となっており、本年4月2日に下伊那郡町村会から長野県知事に対し、「地方分権時代における新たな自治体運営に関する提言書」が提出されました。

「下伊那郡町村会提言への対応協働プロジェクト」は、この提言に掲げられた課題に迅速に対応すべく、実効性あるプランを策定するために設置され、多くの町村職員と県職員等により5つの専門チーム体制として活発なディスカッションを重ねて参りました。

本提案は、課題の解決に向けて迅速に対応するという趣旨から、3つの専門チームの提案を内容とする「前期提案」を本年9月14日に行い、このたび、引き続き検討を重ねてきた2つの専門チームの提案を加え、最終の提案書としてまとめました。

下伊那郡町村会・町村並びに県におかれましては、本日の提案の具現化に向けて、可能な限り迅速に対応されることを望むものであります。

平成16年11月19日

下伊那地域振興戦略会議	代 表	串原 良彦
町村事務サポートチーム	チームリーダー	工藤 伸一
		(県経営戦略局・下伊那地方事務所兼務)
町村連合チーム	チームリーダー	串原 良彦(下條村)
広域防災チーム	チームリーダー	水野 利彦(阿智村)
学校運営のあり方チーム	チームリーダー	高見 義夫(平谷村)
観光活性化チーム	チームリーダー	牛山 明彦(阿智村)